LaTeX演習ファイル

あなたの名前

September 17, 2024

Contents

1	イントロダクション	2
2	数式の種類と違い 2.1 インライン数式	2
3	箇条書き 3.1 箇条書きの例	3 3
4	図の挿入	3
5	表の作成	4
6	文献引用	4

1 イントロダクション

この Tex ファイルに書かれている内容は、学部 3 年生向けに LaTeX の基本的な要素を説明することを目的としています。LaTeX を使うことで、論文やレポートの作成が容易になります。演習も兼ねて記述の練習してみましょう。

2 数式の種類と違い

LaTeXでは、数式を表現するためにいくつかの方法が提供されています。以下では、それぞれの数式の違いを説明します。

2.1 インライン数式

インライン数式は、通常のテキストの中に組み込まれる小さな数式です。例 えば、以下のように数式が文章中に表示されます。

中学校で習う比例の式は、y=ax(y は比例定数) で表すことができます。 また、 $y=x^n(n\in\mathbb{N})$ の微分は、 $y'=nx^{n-1}$ で求まります。

2.2 ディスプレイ数式

ディスプレイ数式は、独立した行として中央に配置される数式です。通常、 複雑な数式や強調したい数式に使用されます。この形式では、数式が中央に 配置され、大きめのサイズで表示されます。例を以下に示します。

x = a

から

x = b

までの関数

f(x)

の定積分は

$$\int_{a}^{b} f(x)dx = F(b) - F(a)$$

で定義される。

2.3 番号つきディスプレイ数式

中央に寄せつつ数式に番号をつけたい場合、番号つきディスプレイ数式を使用しましょう。以下に例を示します。f(x)の不定積分は以下で定義される。

ただし、C は積分定数である。

$$\int_{a}^{b} f(x)dx = F(x) + C \tag{1}$$

一方、x=a から x=b までの関数 f(x) の定積分は、以下で定義される。

$$\int_{a}^{b} f(x)dx = F(b) - F(a) \tag{2}$$

このとき積分定数が消える理由は以下が理由である。

$$\int_a^b f(x)dx = [F(x) + C]_a^b \tag{3}$$

$$= (F(b) + C) - (F(a) + C)$$
 (4)

$$= F(b) - F(a) \tag{5}$$

3 箇条書き

LaTeX では、箇条書きや番号付きリストも簡単に作成できます。

3.1 箇条書きの例

- 最初の項目
- 2番目の項目
- 3番目の項目

3.2 番号付きリストの例

- 1.1つ目
- 2. 2つ目
- 3. 3つ目

4 図の挿入

次に、画像を挿入する方法を説明します。画像は ${
m JPEG,\,PNG}$ などの形式に対応しています。ただし、 ${
m pLaTeX}$ の場合、 ${
m png}$ などではエラーが出る可能性があります。そのため、 ${
m eps}$ 形式を使用することを推奨します。

図 1は、LaTeX で画像を挿入した例です。



Figure 1: サンプル画像のキャプション

5 表の作成

LaTeX では、表を簡単に作成することができます。次にその例を示します。

項目	值 1	值 2
A	100	200
В	300	400
\mathbf{C}	500	600

Table 1: サンプル表

表1は、項目ごとのデータを示しています。

6 文献引用

論文を書く上で参照した論文や書籍、サイトなどは必ず引用する必要があります。引用方法は、指定があるパターンが多いため確認を忘れないようにしましょう。また、初回ビルド時は、引用箇所が[?] となってしまうため、必ず2回以上行ってください。引用方法の例を以下に示します。樋口らは、eBPFを用いたリアルタイム防御システムを考案した[1]。

References

[1] K. Higuchi and R. Kobayashi, "Real-Time Defense System using eBPF for Machine Learning-Based Ransomware Detection Method," 2023 Eleventh International Symposium on Computing and Networking Workshops (CANDARW), 2023, pp. 213-219, doi: 10.1109/CANDARW60564.2023.00043.